平和が大好き、憲法９条が大好き

生協労連・憲法闘争ニュース

２００８年５月１９日
第 ７ 号
生 協 労 連
電話 03 (3408) 0067
qyg03057@nifty.com

５月３日は日本国憲法が施行された日。前後して憲法集会をはじめとして全国でさまざまな行事が行われました。

最初に「９条世界会議」に参加したエフコープ生協労組の吉橋秀美さんのレポートです。

９条世界会議に参加して

２００８年５月４日（日）～５日（月）に幕張メッセで開催された、９条世界会議に参加しました。

一日目　7000人収容の会場に一万人以上の人が集まり、会場に入りきれない人・人・人で溢れかえりました。13:30 分に開会し、終了したのが 22:30 分を過ぎていました。

１部　「世界の希望としての９条」と題して、「マイレッド・コリガン・マグワイアさん（1976 年ノーベル平和賞受賞）」と「コーラ・ワイスさん（国際平和ビューローの元会長）」お二人の基調講演で始まりました。

幕張メッセの全体会場

コーラ・ワイスさんは、イラク戦争に賛同する大統領の方針を変換させたコスタリカの青年の話や名古屋高裁の判決の意義について述べられました。海外ゲストや 71 日間かけて、広島から東京に歩いてきた「9 条ピースウォーク」の人々さらに、「世界がもし 100 人の村だったら」の池田香代子さん等の挨拶のあと合唱「ねがい」と交響曲第九番が演奏されました。

２部　「戦争のない世界を創る」 海外からのゲスト（ベアテ・シロタ・ゴードンさん他）の講演があり、講演と講演の間にパフォーマンス（踊り・演奏）が盛り込まれて参加者に飽きさせない内容でした。また、「イラク、アメリカ、日本」のタイトルで、イラク戦争に反対して辞任したアメリカ元陸軍大佐、イラク帰還兵や高遠菜穂子、雨宮処凛さんらのトークセッションが組まれていました。その発言のなかで、『アメリカの軍需産業に対抗するには、「平和で儲かる産業」を考えていかなければならない』との言葉は、平和という理想だけでなく、現実に出来ることで対抗していくことの必要性が痛感させられました。

３部　Music Live　『9 ALIVE』

若者も年配者も交じって、会場全体が一体となった Live でした。ちなみに、UA（ウーア）、原田真二、FUNKIST、加藤登紀子が登場しました。

二日目　「9 条を生かす分科会」と題して多数の分科会が開催されましたが、私は「劣化ウラン兵器の禁止」の分科会とシンポジュウム６「9 条の危機と未来」に参加しました。

発表をされる振津かつみさん

『劣化ウラン兵器の禁止』の分科会では、「ウラン兵器禁止法」を実現させたベルギーのディルク・ブァン・デル・メーレンさんの講演がありました。周りの強国にほんろうされてきたベルギーが 1933 年に広範な兵器を規制する法律を作成した。この法律や NGO と国会議員との協力した取り組みが国内世論を背景にベルギー政府が「対人地雷禁止」「クラスター爆弾禁止」「ウラン兵器（劣化ウラン）禁止」を実施せざるをえなかった背景が語られました。

シンポジュウム６　『9 条の危機と未来』　日本の市民がめざす「戦争なき軍隊なき世界」と題し

て、品川正治さん（経済同友会終身幹事）と水島朝穂さん（早稲田大学教授）のお二人から問題提起があり、コーディネーターの湯川れい子さん（作詞家）、吉岡達也さん（ピースボート）、パネリストの香山リカさん（精神科医）、伊藤　真さん（伊藤塾塾長）、ロニー・アレキサンダーさん（神戸大学大学院）の合計 7 人によるシンポジュウムが開催されました。

満員の会場（床に座っての参加者も）

私が感じた 7 人のコメントを紹介してシンポジュウムの紹介とします。

■品川正治さん：人間の努力・福祉 etc、国家の目で見るのか人の目で見るのか？日本が変われば、アジアが変わる、世界が変わる。このきっかけが 9 条世界会議

■水島朝穂さん：9 条は勝っていないけど負けていない。軍事的合理性を否定、平和的合理性。9 条は自由社会の為。アジアの民衆に対する平和公約。

■湯川れい子さん：気持ちいい音楽が好きなように、気持ちいい世界（世の中）が好き。気持ちいいから好きなことをしている。

■吉岡達也さん：自衛隊があっても 9 条があることが周りの国へ安心感を与えている。9 条がなければ、東アジアの果てしない軍備拡張が繰り広げられる。

■香山リカさん：男らしい、男社会だから戦争が生まれる？変えていかなければいけない。いま、この会場は 9 条が重要だと思っている人で一杯。でも、この会場を一歩でれば、少数派かもしれない。声を上げていかなければ…

■伊藤　真さん：9 条は生活を良くする道具

■ロニー・アレキサンダーさん：多様性、創造性が必要。何でも疑問を持つことが必要。そこから、新しい平和が作れる。

以上

☆なお、吉橋さんは6日の東京・夢の島からの平和行進に参加されました。

パルコープ

憲法ミニ学習会に６０人

おおさかパルコープ労働組合
箕作　勝則

4月28日、おおさかパルコープ労働組合では、中央委員会にて憲法学習会を開催しました。5月3日の憲法記念日、5月6日の9条世界会議・関西を直前に控え、少しでも憲法について考えようと企画したものです。30分の短時間でしたが、学習会では、「憲法は国民におしつけるものではなく、国民が権力をしばるもの」「国民の義務は実質、納税くらいで、天皇や政府、国会議員、公務員に憲法を擁護し守る義務がある」など基本的なことですが、あまり知られていないことを学びました。

この他に憲法前文を読み、その崇高な理念にあらためて確信を抱くとともに、この間の「9条の会」を中心とした運動で、世論が逆転したことなどを知らせる中で、草の根の運動の大切さを共有しました。

参加者からは、「いまのくらしにこの憲法をもっといかさなければ」「短時間でもこのような機会を頻繁に設けることが大切」などの感想が出されました。参加人数は60名でした。

伊藤千尋さん最新著
「活憲の時代　－　コスタリカから９条へ」
特別価格：８００円

生協労連第14回沖縄基地・戦跡めぐり

今年のテーマ　**「沖縄の歴史と基地から、平和と戦争、憲法9条を考える」**

日時：2008年6月20日（金）～22日（日）
宿泊：那覇市内

申し込み：本・沖縄とも生協労連まで

次号は「9条世界会議　イン　仙台」のリポートです。